

## 参考1

### ○具体化までの経緯

- 平成23年 7月 大阪市と大阪府専修学校各種学校連合会が、「大阪府内の専修学校・各種学校に、実務につながる経験を積む場所を提供するなかで、まちの活性化にも貢献してもらう」ことを目的に連携協定を締結
- 平成24年 2月 大阪市と西日本旅客鉄道株式会社、(一社)大阪府専修学校各種学校連合会が、「まちと公共交通をテーマに、若者の育成を通して、大阪を明るく元気に」することを目的として連携していくことを決定
- 平成24年 6月 大阪市と西日本旅客鉄道株式会社が、「大阪環状線と地域の活性化」をテーマとした、専修学校・各種学校からの具体的な提案を募集
- 平成24年11月 大阪市専修学校・各種学校連携プロジェクト大阪環状線コラボレーション事業プレゼンテーション大会を開催し、大阪市優秀賞、JR西日本優秀賞を決定(2校)
- 平成24年12月 優秀提案の実現化について検討を開始
- 平成25年 4月 各学校と実現化に向け具体的な検討を開始



大阪工業技術専門学校、JR西日本、大阪市との打合せ



創造社デザイン専門学校、JR西日本、大阪市との打合せ

## 参考 2

■特に優秀な提案のあった2校の具体的な提案内容

### 専修学校等との連携事業の優秀提案が実現！

「大阪環状線と沿線地域の発展のために」をテーマに、地域住民や利用者の目線から大阪環状線の課題を発掘し、沿線地域の活性化に向けた取組みとして実施している「大阪市専修学校・各種学校連携プロジェクト×大阪環状線コラボレーション事業」の優秀提案が実現します！

#### OCT 大阪工業技術専門学校

◆優秀提案名：大阪観覧線プロジェクト  
周辺環境と関連付けることで環状線に乗ることや駅に行くことが楽しくなり、他では見いだせない価値を創出

#### 創造社デザイン専門学校

◆優秀提案名：プラツとホーム -古き良き、新しき まち歩き-  
環状線に乗るとつい、寄り道したくなるような利用客と駅周辺地域とを結ぶアイテムとして、街の魅力を知ってもらうきっかけづくり

#### 「JR環状線森ノ宮駅プロジェクト」

(平成26年度内施工開始)

○デザインソース：『樹々』  
大阪城公園駅から森ノ宮駅に連続している大阪城公園の樹々を、駅中まで展開することにより、森ノ宮駅の個性に繋げ、街の風景や街並みを創出。

○インプレッション：ホーム端部に着目  
・環状線から唯一大阪城を眺められる場所  
・外から見ても街の顔としてオープンなイメージを醸成  
・ホームの印象に変化を与える

#### 城見エリアの設置

○空間の効果的な活用：ホーム中心部の死角に着目  
・階段裏の空きスペースに着目。スペースの奥行きと対面利用を図ることで視認性を確保し、防犯性を高めたコミュニケーションスペースの設置  
・レールを目立たせ、アーチとして両ホームを結ぶことで、待合空間の一体感を創出

#### 「よりみちマップ」(平成26年3月配架)

○コンセプト：トレーディングカードの長所をマップでも表現  
・写真集のような保存性  
・携帯性と手に取った人へのインパクト  
・その地域でしか味わえないプレミアム感

○よりみちマップの特長  
・ターゲット：拡散効果を意識した若者向けデザイン  
・形状：折りたたみ式 (A3 3つ折り観音開き)、配架ラックに配慮  
・使用例：中心部のマップを切り取り、余った縁を折り曲げ、コンパクトサイズの地域情報ツールに  
・掲載情報：地元の声や、地元の方の紹介を取り入れることで、地域への親密感を高め、地域の活性化へ繋げる

○配架駅  
JR大阪環状線 森ノ宮駅と玉造駅  
※駅周辺区役所(中央区、天王寺区、東成区)でも配架